

平成二十七年度事業報告及び決算報告

I 事業の実施状況

1. 博物館事業

(1) 展示事業

平成27年度刀剣博物館の展示活動及び入館者数は25ページ表1の通り。

(2) 鑑賞会事業

定例鑑賞会は8月と12月を除く毎月第二土曜日に、当協会四階講堂において午後1時より開催した。鑑賞会には平均六五名の出席があり、刀剣の鑑賞並びに鑑定刀の入札及び当協会学芸員による解説を行った。

また定例鑑賞会にあわせて、平成24年9月から、刀剣を手にとって鑑賞したことのない初心者のために、刀剣の扱い方、鑑賞の方法を学ぶための「日本刀鑑賞マナー講座」を予約制で開催し、修了した者には修了証を発行しており、平成27年度の参加者は九五名であった。

その他協力団体が公益事業として開催する鑑賞会に、依頼により鑑定刀の貸与及び講師の派遣を行った。平成27年度は七九件の依頼があり、刀剣類五点を貸与し、鑑賞の指導を講師(学芸員)が行った。協力団体開催の鑑賞会の平均出席者は二七名であった。

(3) 作品発表会

①平成27年新作名刀展
作刀、刀身彫彫金の職方の作品発表の場、及び多くの方に現代作家の技倆の高さをアピールすることを目的として平成27年4月28日(火)から6月7日(日)まで刀剣博物館で開催した。入場者は四、〇四六人であった。

②第68回刀剣研磨・外装技術発表会入賞作品展
研磨、白鞘、刀装、柄前、白銀の職方の作品発表の場、及び多くの方に現代作家の技倆の高さをアピールすることを目的として、平成27年12月

1日(火)から12月20日(日)まで刀剣博物館で開催した。入場者は一、二四四人であった。

当協会の古伝書、一般刀剣関係書籍等を収蔵している資料室を、月曜日から金曜日の10時から12時及び13時から16時まで一般の利用に供した。入室、閲覧は無料とし、コピーサービス(有料)にも応じた。平成27年度は八二件の利用があった。

(4) 古伝書等の公開 刀剣相談

当協会に来館または書面、電話での刀剣等に関するあらゆる相談を受け付け、刀剣類の文化財としての位置付けを認識してもらうと共に、刀剣類の知識として手入れ方法、保存方法を指導した。また銃砲刀剣類所持等取締法に基づく所轄警察署への届出等、関係法令の周知徹底を図り、各都道府県教育委員会への登録申請の相談も受け登録業務に協力した。

(5) 広報誌の発行

平成27年度は広報誌『刀剣美術』を六九九号から七一〇号まで発行した。当協会編集委員及び編集担当職員が毎月編集会議を開催して内容を検討し、投稿された刀剣関係の論文、隨想、資料の紹介等の掲載の他、定例鑑賞会の報告及び当協会や刀剣界の情報発信源として、また刀剣類の知識の向上を目的として会員への配布のみならず、刀剣博物館においても一般に向けて頒布している。

(6) ホームページ活用

『刀剣美術』誌と共に、当協会や刀剣界の情報発信源として活用しているほか、刀剣の知識が学べるように構成している。また、『刀剣美術』誌の記事の一部を英訳してホームページから見ることができるようにして、海外の研究者、愛刀家等の要望に応えている。

| 展示名 | 期間 | 一般 | 会員 | 招待 | 学生 | 中学生以 | 団体 | ぐるっとバス利用者 | 計(人) |
|---------------------------|------------------|--------|-------|-------|-------|-------|-----|-----------|--------|
| 館蔵名刀展 同時開催 幕末金工の美 ※1 | 4. 1～4.26 | 1,943 | 81 | 74 | 177 | 148 | 31 | 128 | 2,582 |
| 平成27年 新作名刀展 | 4.28～6.7 | 2,663 | 127 | 330 | 286 | 167 | 34 | 439 | 4,046 |
| 特別展「備前刀劍王国」 第Ⅰ期 | 6. 9～8.23 | 5,863 | 400 | 261 | 1,153 | 647 | 94 | 808 | 9,226 |
| 特別展「備前刀劍王国」 第Ⅱ期 | 8.25～11.1 | 4,727 | 349 | 252 | 628 | 284 | 83 | 608 | 6,931 |
| 第61回重要刀劍等新指定展 | 11. 3～11.29 | 1,655 | 249 | 131 | 157 | 107 | 11 | 200 | 2,510 |
| 第68回刀劍研磨・外装技術発表会 入賞作品展 | 12. 1～12.20 | 771 | 69 | 65 | 106 | 114 | 0 | 119 | 1,244 |
| 刃文 一千年の移ろい | H28. 1.5～3.27 | 9,050 | 297 | 202 | 1,675 | 724 | 152 | 629 | 12,729 |
| 企画展 鈴木嘉定コレクション寄贈品 展 | 3.29～3.31 | 235 | 12 | 29 | 35 | 35 | 0 | 15 | 361 |
| 合 計 | | 26,907 | 1,584 | 1,344 | 4,217 | 2,226 | 405 | 2,946 | 39,629 |

表1 ※1 館蔵名刀展 同時開催 幕末金工の美 は平成27年1月6日から開催

※2 企画展 鈴木嘉定コレクション寄贈品展 は平成28年5月15日まで開催

(1) 2 教育、講習事業
刀職技能訓練講習会

刀職者の技能向上とその普及を目的として、西日本で行っているこの講習会は、広報誌『刀剣美術』、当協会ホームページ、刀剣博物館掲示板で研修生を募集し、平成27年度で29回を数え、備前長船刀剣博物館において平成27年6月30日（火）から7月3日（金）の四日間開催した。講習部門は「柄下地の部」と「刀装金具の部」の二部門で、「柄下地の部」は柄巻師の無鑑査認定者の講師により「柄形の種類」を講習テーマとして実施し、受講者は五名であった。「刀装金具の部」は白銀師の無鑑査認定者の講師により「天正柄の縁の制作技術」を講習テーマとして実施し、受講者は一二名であった。最終日の閉講式において受講生に対し受講証書を交付した。

(2) 第四七回刀剣研磨・外装技術研修会

刀職者の技能向上とその普及を目的として行っているこの研修会は、広報誌『刀剣美術』、当協会ホームページ、刀剣博物館掲示板で研修生を募集し、当協会講堂において、平成27年8月24日（月）から8月29日（土）までの六日間開催した。研修部門は「研磨の部」「鍛冶研ぎの部」（前半三日間）及び外装の部として「白鞘の部」「柄前の部」「白銀の部」（後半三日間）であり、「研磨の部」は研師の無鑑査認定者の講師により、「仕上げ研ぎ」を研修テーマとして実施し、特別研修生三名、研修生八名、聴講生一八名の参加があった。「鍛冶研ぎの部」は刀匠の無鑑査認定者の講師により、「鍛冶研ぎの基礎技法」を研修テーマとして実施し、特別研修生三名、研修生二名、聴講生二名の参加があった。「白鞘の部」は鞘師の無鑑査認定者の講師により、「搔き入れの基礎技法と道具の修理」を研修テーマとして実施し、特別研修生一名、研修生一名、聴講生八名の参加があつた。「柄前の部」は柄巻師の無鑑査認定者の講師により、「常組・糸巻の要諦」を研修テーマとして実施し、研修生一名、聴講生六名の参加があつた。「白銀の部」は鋲師の無鑑査認定者の講師により、「肉置き及び金着せの基礎技法」を研修テーマとして実施し、研修生四名、聴講生一〇名の参加があった。

また、三年間の研修修了者は研磨の部の特別研修生一名及び研修生三名、鍛冶研ぎの部の特別研修生一名、白鞘の部の特別研修生一名及び研修生一名、柄前の部の研修生一名、白銀の部の研修生一名であり、修了証書を交付し、その他研修生、聴講生にそれぞれ研修証書、聴講証書を交付した。

(3) 第三回作刀技術実地研修会

この研修会は、文化庁の作刀承認を得ること及び若手刀匠の技倆向上を目的として、広報誌『刀剣美術』、当協会ホームページ、刀剣博物館掲示板で研修生を募集し、平成27年9月29日(火)から10月2日(金)の四日間、島根県の日刀保日本刀鍛錬道場において開催した。

本研修会は三年で修了となるカリキュラムで行っているが、今回は、第一期の三年目にあたり「焼入れ」をテーマとして、刀匠で無鑑査認定者三名の講師により実施し、特別研修生二名、研修生一名、聴講生八名の参加があった。この研修では近年のサブテーマである「各種玉鋼の効果的使用法」の研修も行つた。

(4) 村下養成研修会

本講習会は、日刀保たたら操業の日程にあわせ「日刀保たたら」において、日刀保たたら村下を講師に、村下後継者の養成を行つた。養成員一〇名の参加があつた。

(5) 博物館等職員対象刀剣類取扱講習会

本講習会は、美術館・博物館・資料館の学芸担当者等を対象とした文化財としての刀剣類を正しく保管・展示するために必要な知識及び技能を習得することを目的に、東京都教育委員会の共催を得て平成27年10月28日(水)、10月29日(木)の二日間の日程で開催した。両日は連続したカリキュラムとなつており、一日目は、「銃刀法概論」、「日本刀概論I・II」、「日本刀の取扱いと保管方法」の講義を、二日目は、実技として「展示指導」の講義を行つた。両日で延べ一八人の参加があつた。

3. コンクール事業

(1) 平成27年新作名刀展

現代作家の技術の向上及び普及を目的として、作刀の部、刀身彫の部、

彫金の部の三部門について広報誌『刀剣美術』、協会ホームページ、刀剣博物館掲示板で公募し、平成27年4月1日(水)から3日(金)の間受付をした。申請された作刀の部三九点、刀身彫の部三点、彫金の部二一点について、平成27年4月10日(金)審査会を開催し、その結果は、特賞は作刀の部六点、彫金の部二点、優秀賞は作刀の部五点、刀身彫の部一点、努力賞は作刀の部七点、刀身彫の部二点、彫金の部八点、入選は作刀の部二一点、彫金の部一一点となつた。無鑑査による出品は作刀の部一一点、彫金の部三点であった。

平成27年4月28日(火)午後1時から当協会講堂において表彰式を執り行い、入賞者に賞金、賞状、副賞(カップ及び出品者には玉鋼)、入選者に入選証書をそれぞれ交付した。各部門について審査員の代表が審査員講評を行つた。

新作名刀展では開催のチラシを各方面に配布し、また入賞作品の写真を掲載した入賞作品集を作成し、一部一、三〇〇円で発売した。

展示は平成27年4月28日(火)から6月7日(日)まで刀剣博物館で開催した。その後は8月1日(土)から8月20日(木)まで山形県の致道博物館、9月12日(土)から9月27日(日)までは埼玉県の川越市立博物館において巡回展を行つた。

(2) 第六回刀剣研磨・外装技術発表会

現代作家の技術の向上と普及を目的として、研磨の部、外装の部として白鞘の部、刀装の部、柄前の部、白銀の部について広報誌『刀剣美術』、協会ホームページ、刀剣博物館掲示板で公募し、平成27年11月4日(水)から6日(金)の間受付をした。研磨の部は「鎌造の部」と「平造の部」に分け、同時に二部門への出品ができる。

申請された研磨(鎌造)の部五二点、研磨(平造)の部二〇点、白鞘の部一〇点、刀装の部三点、柄前の部一五点、白銀の部一〇点について、11月13日(金)、当協会講堂において審査会を開催し、審査の結果、特賞は研磨(鎌造)の部三点、柄前の部一点、白銀の部一点、優秀賞は研磨(鎌造)の部五点、研磨(平造)の部一点、白鞘の部一点、刀装の部一点、白銀の部二点、努力賞は研磨(鎌造)の部一〇点、研磨(平造)の部二

点、白鞘の部三点、刀装の部一点、柄前の部五点、白銀の部二点、入選は研磨（鑄造）の部三三点、研磨（平造）の部一六点、白鞘の部六点、刀装の部一点、柄前の部九点、白銀の部五点で落選は研磨（鑄造）の部一点、研磨（平造）の部一点であった。無鑑査による出品は研磨の部九点、柄前の部二点、白銀の部二点であった。

11月24日(火)午後1時より、当協会講堂において表彰式を執り行い、入賞者に賞金、副賞(カップ)及び賞状を、入選者に入選証書をそれぞれ交付した。各部門について審査員の代表が審査員講評を行った。展示は、12月1日(火)から20日(日)まで刀剣博物館において開催した。

規程に則り厳正に第一次審査、第二次審査を行った。
11月3日(火)から11月29日(日)まで刀剣博物館において指定品の展示を行い、指定品の指定書及び指定品を纏めた図譜を現在作成中である。なお、特別重要審査は毎年毎に実施されるため、本年度は実施がなかった。受付点数、合格点数はそれぞれ次のとおりであった。

| 区 分 | 受付点数 | 合格点数 |
|----------|------|------|
| 第六一回重要刀剣 | 八二六 | 一六五 |
| 刀装 | 四九 | 一一 |
| 刀装具 | 二七七 | 三七 |

4. 検定・資料収集事業

(1) 刀剣類の保存・特別保存審査

8月と9月を除く毎月、保存及び特別保存の審査申請を受付し、審査会を開催した。

奇数月の月初めの連続する三日間は刀剣の受付を、偶数月の月初めの連続する三日間は刀装・刀装具の受付をした。
受付点数により審査会を複数回設け、審査は理事会の決議を経て会長が指名または委嘱した審査員により、審査規程に則り厳正に審査を行い、合格したものには鑑定書を発行した。

| 区分 | 受付点数 | 合格点数 |
|-----|------|------|
| 刀剣 | 六九八四 | 四五九四 |
| 刀装 | 三六七 | 二一八 |
| 刀装具 | 三九四八 | 二六一三 |
| 刀劍 | 二四五〇 | 一六四八 |
| 刀装 | 一五二 | 一〇七 |
| 刀装具 | 九四〇 | 七五四 |

保 存

刀劍

刀装

刀装具

刀劍

刀装

6. たら製鉄事業

たら操業を平成28年1月20日(水)から2月6日(土)まで三代実施した。期間中は村下養成研修会とし、日刀保たら村下を講師に村下後継者の養成を行った。これに先立ち、操業開始前の準備として数日前より釜土の混練や本床への火入れなどを行った。炉床の状態を整え、本操業に臨み、伝統技術の保存・伝承に努めた。

操業 자체は下準備から始まり、釜作り・三昼夜操業・釜壊しを一単位つまり一代と数えるが、釜作り以降の作業を計三回行い、一回平均約2・5トンの鉄を生産した。また操業終了後からは、生産された鉄を破碎し翌年度以降の玉鋼配布準備のため各等級毎に選別する作業を行った。

操業期間外では、日刀保たら村下の指導のもと、ほぼ通年で以下の作業を行っている。⁽¹⁾三代分のたら炭の生産(約36トン)、⁽²⁾粘土の選別と確保、⁽³⁾注文に応じての玉鋼発送作業、⁽⁴⁾その他適宜発生する業務。さらに、生産された玉鋼について刀匠に頒布の文書を郵送した。

7. 刀剣文化振興の助成事業

当協会の協力団体は国内に八〇団体、海外に三団体設立されており、全国の刀剣普及活動の拠点である。

平成27年度は一団体の解散があつた。

〈国内 八〇団体〉

日刀保根室支部 日刀保帶広支部 日刀保札幌支部 日刀保旭川支部
日刀保青森県支部 日刀保八戸支部 日刀保岩手県支部 日刀保秋田県支部
日刀保羽後秋田支部 日刀保山形県庄内支部 日刀保山形支部
日刀保米沢支部 宮城県美術刀剣保存協議会 日刀保会津支部
日刀保福島県南支部 日刀保いわき支部 日刀保福島支部 新誠会
日刀保高崎支部 日刀保茨城県支部 日刀保茨城県西北支部 土浦亀城刀剣会
日刀保栃木県支部 埼玉県刀剣保存協議会 日刀保千葉県東部支部
日刀保千葉県支部 日刀保東京都支部 日刀保福島支部
日刀保横浜支部 鎌倉刀剣会 日刀保湘南支部 日刀保山梨県支部
日刀保新潟支部 日刀保長岡支部 日刀保富山県支部 日刀保石川県支部

〈海外 三団体〉

ヨーロッパ支部 アメリカ支部 ロシア支部

(1) 協力団体で開催する鑑賞会への講師派遣及び鑑賞刀剣の貸与について

は、⁽²⁾の(2)鑑賞会事業を参照。

(2) 協力団体で主催する鑑賞会への鑑賞刀剣のみの貸与については、平成27年度は一五件。

(3) 協力団体で主催する刀剣類の展示会の後援

協力団体で主催する刀剣類の展示会の助成及び共催事業として、平成27年度は、以下の二件があつた。

・埼玉県刀剣保存協議会 「新作名刀展」

・日刀保羽後秋田支部 「刀剣展示会・刀剣鑑賞会」

日刀保若狭支部 日刀保福井支部 日刀保長野県南支部
日刀保長野県北支部 日刀保長野県東信支部 日刀保静岡県支部
日刀保京都府支部 日刀保岐阜県支部 日刀保三重県支部
日刀保四国讃岐支部 日刀保香川西支部 日刀保和歌山県支部
日刀保徳島県支部 日刀保山口県支部 日刀保広島県支部
日刀保島根県支部 日刀保鳥取県支部 日刀保香川県支部
日刀保高知県支部 日刀保高知県支部 日刀保北九州支部
日刀保八幡支部 日刀保博多支部 福岡美術刀剣振興会
福岡県文化財保存協会 日刀保筑後支部 日刀保熊本県支部
日刀保宮崎支部 日刀保延岡支部 日刀保長崎支部 日刀保佐賀県支部
葉隱刀友会 日刀保大分支部 日刀保大分県北支部 日刀保鹿児島県支部

II 管理部門

1. 会員の状況

29 ページ表2の通り

貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位:円)

| 科 目 | 当期末 | 前年度 | 増 減 |
|--------------------|-------------------|-------------------|------------------|
| I. 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金 | 41,499,908 | 97,468,651 | △ 55,968,743 |
| 未収用書 | 38,590,620 | 19,419,826 | 19,170,794 |
| 販売品 | 19,151,564 | 18,989,513 | 162,051 |
| 製品 | 77,532,567 | 73,095,863 | 4,436,704 |
| 原資 | 2,359,387 | 3,108,616 | △ 749,229 |
| 前払 | 332,105 | 0 | 332,105 |
| 流动資産合計 | 179,466,151 | 212,082,469 | △ 32,616,318 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 土地 | 53,660,000 | 53,660,000 | 0 |
| 建物 | 37,378,522 | 39,106,780 | △ 1,728,258 |
| 預金 | 784,126,105 | 295,403,752 | 488,722,353 |
| 投資 | 30,000,000 | 579,356,792 | △ 549,356,792 |
| 刀剣及び小道具 | 715,250,000 | 715,250,000 | 0 |
| 基本財産合計 | 1,620,414,627 | 1,682,777,324 | △ 62,362,697 |
| (2) 特定資産 | | | |
| 退職給付引当資産 | 93,667,566 | 49,667,566 | 44,000,000 |
| 減価償却引当資産 | 119,476,655 | 119,476,655 | 0 |
| 刀剣学奨学積立資産 | 4,863,763 | 4,863,763 | 0 |
| 新刀剣博物館建設積立資産 | 240,000,000 | 120,000,000 | 120,000,000 |
| 特定資産合計 | 458,007,984 | 294,007,984 | 164,000,000 |
| (3) その他固定資産 | | | |
| 建物 | 25,334,987 | 27,848,939 | △ 2,513,952 |
| 建物付属設備 | 3,243,748 | 3,935,086 | △ 691,338 |
| 構築物 | 5,681,490 | 5,903,020 | △ 221,530 |
| 機械装置 | 10,594,291 | 12,371,372 | △ 1,777,081 |
| 機器 | 1,414,315 | 2,199,274 | △ 784,959 |
| 工具 | 300,000 | 300,000 | 0 |
| 刀剣及び小道具 | 158,676,809 | 158,826,809 | △ 150,000 |
| 研磨修用教材 | 15,367,000 | 15,367,000 | 0 |
| 絵図書 | 5,800,000 | 5,800,000 | 0 |
| ソフトラウエア | 8,960,000 | 8,960,000 | 0 |
| 建設仮勘定 | 0 | 139,650 | △ 139,650 |
| その他固定資産合計 | 87,328,800 | 26,696,800 | 60,632,000 |
| 固定資産合計 | 322,701,440 | 268,347,950 | 54,353,490 |
| 資産合計 | 2,401,124,051 | 2,245,133,258 | 155,990,793 |
| | 2,580,590,202 | 2,457,215,727 | 123,374,475 |
| II. 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 未払受金 | 13,881,154 | 8,087,390 | 5,793,764 |
| 前預金 | 30,537,504 | 27,304,334 | 3,233,170 |
| 賞与引当金 | 3,513,876 | 2,927,549 | 586,327 |
| 流动負債合計 | 8,850,081 | 8,636,597 | 213,484 |
| | 56,782,615 | 46,955,870 | 9,826,745 |
| 2. 固定負債 | | | |
| 退職給付引当金 | 106,230,014 | 96,412,740 | 9,817,274 |
| 固定負債合計 | 106,230,014 | 96,412,740 | 9,817,274 |
| 負債合計 | 163,012,629 | 143,368,610 | 19,644,019 |
| III. 正味財産の部 | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | |
| 指定正味財産合計 | 0 | 0 | 0 |
| (うち基本財産への充当額) | (0) | (0) | (0) |
| (うち特定資産への充当額) | (0) | (0) | (0) |
| 2. 一般正味財産 | | | |
| (うち基本財産への充当額) | 2,417,577,573 | 2,313,847,117 | 103,730,456 |
| (うち特定資産への充当額) | (1,620,414,627) | (1,682,777,324) | (△ 62,362,697) |
| 正味財産合計 | (364,340,418) | (244,340,418) | (120,000,000) |
| 負債及び正味財産合計 | 2,417,577,573 | 2,313,847,117 | 103,730,456 |
| | 2,580,590,202 | 2,457,215,727 | 123,374,475 |

正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|-------------------------|-------------|-------------|--------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経 常 増 減 の 部 | | | |
| (1) 経 常 収 益 | | | |
| 基 本 財 产 運 用 益 | 3,664,929 | 6,641,586 | △ 2,976,657 |
| 基 本 財 产 利 息 収 益 | 3,664,929 | 6,641,586 | △ 2,976,657 |
| 特 定 資 产 運 用 益 | 846,307 | 856,930 | △ 10,623 |
| 特 定 資 产 受 取 利 息 | 846,307 | 856,930 | △ 10,623 |
| 受 取 会 費 及 び 入 会 金 | 44,783,326 | 47,509,403 | △ 2,726,077 |
| 会 費 及 び 入 会 金 | 44,783,326 | 47,509,403 | △ 2,726,077 |
| 事 業 収 益 | 412,432,507 | 321,446,910 | 90,985,597 |
| 刀 剣 博 物 館 入 館 料 収 益 | 20,784,630 | 10,327,556 | 10,457,074 |
| 保 存 刀 剑 等 鑑 定 会 受 取 会 費 | 283,310,000 | 201,281,000 | 82,029,000 |
| 重 要 刀 剑 等 指 定 会 受 取 会 費 | 61,818,000 | 72,195,000 | △ 10,377,000 |
| 鑑 賞 会 受 取 会 費 | 3,288,000 | 3,106,800 | 181,200 |
| 書 繕 売 上 高 | 7,357,992 | 5,388,035 | 1,969,957 |
| 出 版 売 上 高 | 7,943,842 | 5,154,269 | 2,789,573 |
| 広 告 料 収 益 | 12,782,580 | 11,456,520 | 1,326,060 |
| 伝 位 登 錄 料 収 益 | 693,000 | 742,000 | △ 49,000 |
| た た ら 事 業 収 益 | 14,454,463 | 11,795,730 | 2,658,733 |
| 受 取 補 助 金 等 | 2,650,000 | 0 | 2,650,000 |
| 受 取 国 庫 補 助 金 | 2,650,000 | 0 | 2,650,000 |
| 受 取 寄 付 金 | 380,000 | 27,000,000 | △ 26,620,000 |
| 一 般 寄 付 金 | 380,000 | 27,000,000 | △ 26,620,000 |
| 雜 収 益 | 6,271,302 | 3,669,024 | 2,602,278 |
| 受 取 利 息 益 | 18,827 | 30,017 | △ 11,190 |
| 雜 収 益 | 6,252,475 | 3,639,007 | 2,613,468 |
| 諸 引 当 金 戻 入 | 8,636,597 | 7,472,088 | 1,164,509 |
| 賞 与 引 当 金 戻 入 | 8,636,597 | 7,472,088 | 1,164,509 |
| 經 常 収 益 計 | 479,664,968 | 414,595,941 | 65,069,027 |
| (2) 経 常 費 用 | | | |
| 事 業 費 | | | |
| 役 員 報 酬 | 361,849,895 | 330,166,680 | 31,683,215 |
| 給 料 手 当 費 | 5,435,000 | 5,792,000 | △ 357,000 |
| 福 賃 利 厚 生 費 | 134,537,207 | 124,214,588 | 10,322,619 |
| 旅 通 費 交 通 費 | 22,166,615 | 20,558,091 | 1,608,524 |
| 通 消 費 信 通 搬 費 | 37,398,629 | 30,763,425 | 6,635,204 |
| 印 刷 耗 品 費 | 11,274,580 | 12,071,633 | △ 797,053 |
| 光 修 費 信 通 搬 費 | 10,698,272 | 10,104,658 | 593,614 |
| 消 耗 品 費 | 4,443,719 | 3,644,083 | 799,636 |
| 印 刷 費 本 料 費 | 42,111,509 | 36,540,801 | 5,570,708 |
| 光 修 費 製 水 繕 借 料 費 | 3,406,280 | 3,436,712 | △ 30,432 |
| 修 費 製 水 繕 借 料 費 | 5,905,719 | 9,472,774 | △ 3,567,055 |
| 賃 租 費 製 水 繕 借 料 費 | 8,788,445 | 11,495,710 | △ 2,707,265 |
| 助 税 成 公 費 | 22,492,700 | 14,818,050 | 7,674,650 |
| 支 支 扁 保 入 費 | 5,996,600 | 6,211,600 | △ 215,000 |
| 支 支 扁 保 入 費 | 594,596 | 331,507 | 263,089 |
| 支 支 扁 保 入 費 | 6,383,469 | 1,771,890 | 4,611,579 |
| 支 支 扁 保 入 費 | 13,088,863 | 11,801,300 | 1,287,563 |
| 他 勘 定 振 替 費 | △ 777,048 | △ 621,179 | △ 155,869 |
| 他 勘 定 振 替 費 | 473,516 | 161,216 | 312,300 |

| | | | | | | | |
|-------|---------|---------|-------|-------|--|---|---|
| 支涉雜減退 | 払 償 価 職 | 寄 外 償 紙 | 付 費 用 | 金 費 費 | 1,000,000 4,754,802 1,710,930 8,489,514 11,475,978 | 0 2,988,710 1,384,094 10,472,253 12,752,764 | 1,000,000 1,766,092 326,836 △ 1,982,739 △ 1,276,786 |
|-------|---------|---------|-------|-------|--|---|---|

(単位：円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|-----------------------|---------------|---------------|-------------|
| 管 理 費 | 14,727,825 | 14,479,848 | 247,977 |
| 役 員 報 酬 | 1,745,000 | 1,888,000 | △ 143,000 |
| 給 料 手 当 | 2,885,885 | 2,664,460 | 221,425 |
| 福 利 厚 生 費 | 1,142,128 | 1,059,250 | 82,878 |
| 旅 費 交 通 費 | 506,590 | 542,404 | △ 35,814 |
| 通 信 費 | 586,825 | 554,264 | 32,561 |
| 消 耗 品 費 | 391,667 | 321,187 | 70,480 |
| 光 热 水 料 費 | 272,208 | 274,640 | △ 2,432 |
| 修 繕 費 | 670,805 | 1,075,972 | △ 405,167 |
| 賃 借 料 費 | 309,324 | 404,611 | △ 95,287 |
| 支 払 保 険 料 | 356,758 | 198,904 | 157,854 |
| 顧 問 料 費 | 3,448,092 | 3,345,600 | 102,492 |
| 支 払 負 担 金 | 208,784 | 71,084 | 137,700 |
| 涉 外 費 用 | 966,981 | 607,812 | 359,169 |
| 雜 退 職 賞 付 費 | 33,137 | 26,807 | 6,330 |
| 減 会 議 費 | 555,254 | 678,925 | △ 123,671 |
| 退 職 賞 付 費 | 591,296 | 657,083 | △ 65,787 |
| 会 議 費 | 57,091 | 108,845 | △ 51,754 |
| 経 常 費 用 計 | 376,577,720 | 344,646,528 | 31,931,192 |
| 当 期 経 常 増 減 額 | 103,087,248 | 69,949,413 | 33,137,835 |
| 2. 経 常 外 増 減 の 部 | | | |
| (1) 経 常 外 収 益 | | | |
| 償 返 差 益 | 643,208 | 0 | 643,208 |
| 経 常 外 収 益 計 | 643,208 | 0 | 643,208 |
| (2) 経 常 外 費 用 | | | |
| 投 資 有 価 証 券 評 価 損 | 0 | 0 | 0 |
| 経 常 外 費 用 計 | 0 | 0 | 0 |
| 当 期 経 常 外 増 減 額 | 0 | 0 | 0 |
| 他 会 計 振 替 額 | 0 | 0 | |
| 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額 | 103,730,456 | 69,949,413 | 33,781,043 |
| 一 般 正 味 財 産 期 首 残 高 | 2,313,847,117 | 2,243,897,704 | 69,949,413 |
| 一 般 正 味 財 産 期 末 残 高 | 2,417,577,573 | 2,313,847,117 | 103,730,456 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| 当 期 指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 指 定 正 味 財 産 期 首 残 高 | 0 | 0 | |
| 指 定 正 味 財 産 期 末 残 高 | 0 | 0 | 0 |
| III 正味財産期末残高 | 2,417,577,573 | 2,313,847,117 | 103,730,456 |

財産目録

平成28年3月31日現在

(単位:円)

| 貸借対照表科目 | | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|----------------|---------|-----------------------------|--|---------------|
| (流動資産) | 現金 | | 運転資金として | 2,345,888 |
| | 普通預金 | みずほ銀行新宿新都心支店 他 | 運転資金として | 30,578,000 |
| | 郵便貯金 | 代々木郵便局振替口座 他 | 運転資金として | 8,576,020 |
| | 未収金 | | 審査事業における審査料 他 | 38,590,620 |
| | 販売用書籍 | 「昭和大名刀図譜」他 | 出版書籍在庫 | 19,151,564 |
| | 製品 | 島根県仁多郡奥出雲町 | 玉鋼在庫 | 77,532,567 |
| | 原材料 | 島根県仁多郡奥出雲町 砂鉄、木炭 | 玉鋼材料在庫 | 2,359,387 |
| | 前払金 | N T T 東日本 | 通話料前払金 | 332,105 |
| 流動資産合計 | | | | 179,466,151 |
| (固定資産) 基本財産 | 土地 | 東京都渋谷区代々木4-25-10 | (供用財産) うち、公益目的保有財産83% うち、管理目的の財源として使用する財産17% | 53,660,000 |
| | 建物 | 東京都渋谷区代々木4-25-10 刀劍博物館 4階建他 | (供用財産) うち、公益目的保有財産83% うち、管理目的の財源として使用する財産17% | 37,378,522 |
| | 普通預金 | 三井住友信託銀行新宿支店 | 公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。 | 494,883,996 |
| | 定期預金 | みずほ銀行新宿新都心支店 他 | | 289,242,109 |
| | 投資有価証券 | 国債 | 公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。 | 30,000,000 |
| | 刀剣及び小道具 | 日本刀 他 | 公益目的保有財産であり、協会の事業の用に供している不可欠特定財産である。 | 715,250,000 |
| | 基本財産合計 | | | 1,620,414,627 |

(単位：円)

| 貸借対照表科目 | | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 | | |
|----------|-------------|--|--|--|--|--|
| 特定資産 | 退職給付引当資産 | 普通預金みずほ銀行新宿新都心支店 定期預金みずほ銀行新宿新都心支店 他 | 職員20名に対する退職金の支払いに備えた積立資産である。 | 52,875,496 40,792,070 | | |
| | 減価償却引当資産 | 普通預金みずほ銀行新宿新都心支店 定期預金三井住友信託銀行新宿支店 国債 | 将来の固定資産への投資のための引当資産である。 | 12,989,532 10,000,000 96,487,123 | | |
| | 刀剣学奨学積立資産 | 定期預金みずほ銀行新宿新都心支店 | | 4,863,763 | | |
| | 新刀剣博物館建設資産 | 普通預金みずほ銀行新宿新都心支店 | | 240,000,000 | | |
| | 特 定 資 産 合 計 | | | 458,007,984 | | |
| | | | | | | |
| | 建物 | 島根県仁多郡奥出雲町 | (供用財産) うち、公益目的保有財産99.4% うち、管理目的の財源として使用する財産0.6% | 25,334,987 | | |
| | 建物付属設備 | 渋谷区代々木4-25-10 | (供用財産) うち、公益目的保有財産88.3% うち、管理目的の財源として使用する財産11.7% | 3,243,748 | | |
| | 構築物 | 渋谷区代々木4-25-10 石碑 他 | (供用財産) うち、公益目的保有財産84.5% うち、管理目的の財源として使用する財産15.5% 公益目的保有財産である。 | 5,681,490 10,594,291 | | |
| その他の固定資産 | 機械装置 | 島根県仁多郡奥出雲町 たたら炉 他 | (供用財産) うち、公益目的保有財産93.7% うち、管理目的の財源として使用する財産6.3% | 1,414,315 | | |
| | 什器備品 | 渋谷区代々木4-25-10 | | | | |
| | 土地 | 長野県上田市 | | 300,000 | | |
| | 刀剣及び小道具 | 渋谷区代々木4-25-10 日本刀 他 | 公益目的保有財産である。 | 158,676,809 | | |
| | 研修用教材 | 渋谷区代々木4-25-10 刀剣及び小道具 | 公益目的保有財産である。 | 15,367,000 | | |
| | 絵画 | 渋谷区代々木4-25-10 日本画 他 | 公益目的保有財産である。 | 5,800,000 | | |
| | 図書及び押型 | 渋谷区代々木4-25-10 網屋押型 他 | 公益目的保有財産である。 | 8,960,000 | | |
| | 建設仮勘定 | | 公益目的保有財産（新博物館建設の一部支払分）である。 | 87,328,800 | | |
| | その他の固定資産合計 | | | 322,701,440 | | |
| 固定資産合計 | | | | 2,401,124,051 | | |
| 資産合計 | | | | 2,580,590,202 | | |

(単位：円)

| 貸借対照表科目 | | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|---------|---------|--------------|-----------------------------------|---------------|
| (流動負債) | 未払金 | 個人会員 他 職員 | 当期消費税確定額 他 | 13,881,154 |
| | 前受金 | | 公益目的事業及び管理目的の業務に使用する会費 他 | 30,537,504 |
| | 預り金 | | 社会保険料 他 | 3,513,876 |
| | 賞与引当金 | | 公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の賞与の引当金である。 | 8,850,081 |
| 流動負債合計 | | | | 56,782,615 |
| (固定負債) | 退職給付引当金 | 職員 | 職員20名に対する退職金の支払いに備えたものである。 | 106,230,014 |
| 固定負債合計 | | | | 106,230,014 |
| 負債合計 | | | | 163,012,629 |
| 正味財産 | | | | 2,417,577,573 |

監査報告書

公益財団法人 日本美術刀剣保存協会
 会長 小野裕殿

平成28年5月16日

公益財団法人 日本美術刀剣保存協会
 監事 小池哲
 公益財団法人 日本美術刀剣保存協会
 監事 田口堯

公益財団法人日本美術刀剣保存協会における平成27年4月1日から平成28年3月31日までの監査の方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1.監査の方法及びその内容

監事は、理事会などの会議に出席し、理事及び担当者からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、決算書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告等及び会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、計算書類（貸借対照表・正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について監査いたしました。

2.監査意見

(1)事業報告等の監査結果

- 1) 事業報告は、法令及び公益財団法人日本美術刀剣保存協会定款に従い、法人の状況を正しく表示しているものと認めます。
- 2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは公益財団法人日本美術刀剣保存協会定款に違反する事実は認められません。

(2)計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を正確に示しているものと認めます。